

外部評価個票

資料3－③

事業名	プロスポーツ支援事業費	開始/終了(予定)年度	H26 / 未設定			成果指標及び 成果実績	成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 (最終目標)																					
グループ名	「やまがた」プロスポーツ支援事業費（Jリーグ）						①モンテディオ山形のホームゲーム入場者数（一試合平均） 9,000人	実績	人	5,082	6,451	8,318	10,265	10,776																						
部局・担当課名	観光文化スポーツ部スポーツ振興課							当初見込み	人	5,000	8,000	7,500	9,000	11,500	未設定																					
創設背景 (課題)	・県の外郭団体である公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会の持続的な運営のため、運営費を負担する必要がある。 ・Jクラブはホームタウンにおいて、地域社会と一体となったクラブ作り（社会貢献活動を含む）を行い、サッカーをはじめとするスポーツの普及および振興に努めなければならないとJリーグ規約に規定されている。						②	実績																												
								当初見込み																												
事業の目的	・公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会正会員費：公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会の事業活動に経常的に生じる費用を負担するもの ・モンテディオ山形ホームタウン活動事業費補助金：モンテディオ山形が、Jリーグの会員として取り組む地域社会と一体となったクラブづくりや、サッカーをはじめとするスポーツの普及・振興活動を充実し、地域の魅力づくりや地域活性化に繋げていくことを図るもの						③	実績																												
								当初見込み																												
事業概要	<公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会正会員費> 【支援対象者】 公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会 【支援要件】 （公社）山形県スポーツ振興21世紀協会が地域スポーツ活動の振興に関する事業等を実施する場合 【支援内容】 （公社）山形県スポーツ振興21世紀協会の事業活動の運営費（上限25,300千円） 【最終受益者】 アカデミー事業の生徒等  <モンテディオ山形ホームタウン活動事業費補助金> 【支援対象者】 株式会社モンテディオ山形 【支援要件】 地域社会と一体となったクラブ作りやスポーツの普及及び振興を図る事業を実施する場合 【支援内容】 地域貢献・地域振興事業やスポーツの普及・振興事業に係る経費の1/2（上限34,000千円） 【最終受益者】 地域の子どもたち、ファン（サポーター）等						④	実績																												
								当初見込み																												
							成果指標設定の考え方					公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会が実施するアカデミー事業等や、モンテディオ山形が実施する地域社会と一体となったクラブ作り（社会貢献活動を含む）やサッカーをはじめとするスポーツの普及および振興事業を支援することを通して実現される「県民がスポーツに触れる機会の創出」の成果を測定するため、モンテディオ山形の入場者数を指標として設定する。 ※上記表の令和7年度実績値は10/26(日)終了時点																								
						補助概要					執行率50%未満の場合の要因分析																									
											令和3年度											令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度											
						当初予算額 (単位:千円)					59,300											59,300	59,300	59,300	59,300											
											財源内訳 (単位:千円)											国庫支出金														
																						県債														
その他特定財源																																				
一般財源	59,300	59,300	59,300	59,300	59,300																															
計					59,300	59,300	59,300	59,300	59,300	59,300																										
決算額 (千円単位)					59,300	59,300	59,300	59,300																												
執行率 (%)					100%	100%	100%	100%	0%																											
事業所管部局による評価・検証（令和7年度9月末まで）																																				
項目					評価 (A/B/C)	評価に関する説明					課題	スポーツの普及・振興活動を充実し、地域の魅力づくりや地域活性化が引き続き必要																								
全ての事務事業の 検証の視点	①長く継続し、社会経済情勢の変化とミスマッチになってないか。 (開始時から社会経済情勢の変化を考慮して、継続するのは妥当か。)				A	スポーツの普及・振興活動を充実し、地域の魅力づくりや地域活性化が引き続き必要である。																														
	②当初の目的や役割を一定程度達成しているのではないか。 (当初の目的・役割の達成程度からみて、継続するのは妥当か。)				A	スポーツの普及・振興活動を充実し、地域の魅力づくりや地域活性化が引き続き必要である。																														
	③人口減少を受けて受益者が減少し、コストに見合っていないのではないか。 (開始時から受益者が減少しても、継続するのは妥当か。)				A	モンテディオ山形というプロスポーツチームの知名度・親近感を活かして実施する事業であるため、個別にスポーツの普及振興事業等を実施する場合と比較してコストパフォーマンスに優れている。																														
検証重点の 取組 イ ン テ ー ム	④課題に対する事業手法は妥当か。				A	公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会が実施するアカデミー事業等や、モンテディオ山形が実施する地域社会と一体となったクラブ作り(社会貢献活動を含む)やサッカーをはじめとするスポーツの普及および振興事業を支援することは、直接的な効果が認められるため、事業手法として妥当である。					今後の対応	継続実施 ただし、「公益社団法人山形県スポーツ振興21世紀協会の正会員費」について、アカデミー事業の移管の状況を踏まえつつ検討する。																								
	⑤成果指標と目標値の考え方は妥当か。				A	「県民がスポーツに触れる機会の創出」はスポーツの普及・振興活動を充実し、地域の魅力づくりや地域活性化の目的の1つであるため、モンテディオ山形の入場者数は成果指標として妥当である。また、目標値について、モンテディオ山形が公表している数値に基づくものであり妥当である。																														
	⑥「執行率が50%未満の場合の要因分析」の内容・手法は妥当か。					-																														

(評価基準)「A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い」